

1 アーティストトーク 事前申込制・無料

舞台美術の仕事やこれまで手掛けた舞台作品にまつわるエピソードなどについて、自身の歩みを交えながらお話いただきます。

日時|7.22 (水) 14:00-15:00

講師|堀尾幸男 (出品作家)

会場|1階アトスペース

定員|50名

申込〆切|7.8 (水) 必着

2 対談：衣裳家 ひびのこづえ×舞台美術家 堀尾幸男

事前申込制・無料

野田秀樹氏演出による舞台作品を多く手掛けてきた両者に、衣裳家と舞台美術家の観点から各々の仕事や関連作品にまつわるエピソードを中心に対談いただきます。

日時|8.1 (土) 14:00-15:30

講師|ひびのこづえ (衣裳家)、堀尾幸男 (出品作家)

進行|渡辺敬子 (中国新聞社 文化担当記者)

会場|1階アトスペース

定員|50名

申込〆切|7.18 (土) 必着

3 美術館×ひとむすびの場 さらさらナイトマーケット

夜間開館日にあわせて美術館前の西条中央公園でナイトマーケットを開催します。マーケットブースでは舞台上で使用されている小道具をあわせてご覧いただけます。

日時|8.8 (土) 17:00-20:00

会場|西条中央公園

くら×美術館
4 東広島芸術文化ホール開館10周年記念
立川志の輔らくご会

半券提示で展覧会観覧料100円割引 ※他の割引との併用不可

本展開催と東広島芸術文化ホールくらの開館10周年を記念して、堀尾氏が過去公演の舞台美術を担当した落語家・立川志の輔らくご会がくらで実現。10周年ならではのスペシャルな落語公演をお楽しみください。

日時|8.29 (土) 開演時間未定

主催|東広島芸術文化ホール指定管理者

会場|東広島芸術文化ホールくら 大ホール

チケット販売|詳細はくらHPをご確認ください (6月上旬販売開始予定)

問合せ先|東広島芸術文化ホールくらチケットセンター

TEL：082-426-5990

同時開催

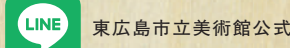
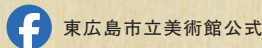
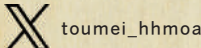
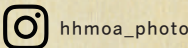
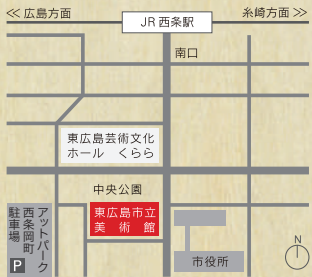
コレクション展第II期 変容するイメージ

会期：7.22 (水) — 10.4 (日)

会場：2階展示室 (※特別展チケットで観覧可)



〒739-0015
広島県東広島市西条栄町9-1
TEL:082-430-7117
FAX:082-430-7118
https://hhmoa.jp/



5 ワークショップ「紙の劇場～不思議の森の生きものになって

冒険に出かけよう～」 事前申込制・無料

舞台美術で使用する水で描けるふしぎな紙素材で遊びながら、森の生き物になりきって、即興演奏とともに「劇づくり」を体験するワークショップです。

日時|9.19 (土) [1回目] 10:30-12:00 / [2回目] 14:00-15:30

講師|長峰麻貴 (舞台美術家/玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科准教授)、
坂本弘道 (作曲家、インプロバイザー)

会場|1階アトスペースほか

定員|各回20名

対象|幼児から小学生まで (保護者同伴)

申込締切|9.4 (金) 必着

6 エリザベト音楽大学 夜空のミュージアムコンサート

— 歌曲と創作の世界 —

エリザベト音楽大学の学生による歌曲及びオリジナル楽曲の演奏を、堀尾氏が本展のためにデザインした宇宙空間を舞台に行います。

日時|9.23 (水・祝) 11:00- / 13:00- / 14:00- / 15:00- (各回15分程度)

演奏|エリザベト音楽大学演奏学科 [指導:川上統 (エリザベト音楽大学准教授)]

会場|3階展示室 (申込不要・要観覧券)

7 くらカフェ ソラオト

コラボメニュー「惑星アイス」

堀尾氏が本展のために制作し1/1スケールで実現展示した宇宙空間をテーマに、限定メニューを提供します。

期間|7.22 (水) — 10.4 (日)

場所|東広島芸術文化ホールくら2階 カフェ ソラオト

8 謎解きゲーム「宇宙を創る魔法」

見習い舞台美術家になって、美術館とその周辺の町に仕掛けられた謎に挑戦します。手がかりを集めながら、答えを導き出しましょう!

期間|8.13 (木) — 9.23 (水・祝)

会場|東広島市立美術館ほか市内各所に開催決定!

※開催情報の詳細は、東広島市立美術館のHPで順次公開します。

関連イベント①②⑤申込方法 往復ハガキまたはwebフォームでお申し込みください

●往復ハガキの場合

- [往信裏面] (1) イベント名 ※⑤のみ希望記入
(2) 参加者及び同伴者氏名・ふりがな・年齢
(3) 代表者電話番号、住所

[返信表面] (1) 返信先住所、代表者氏名

申込先：東広島市立美術館 (〒739-0015 東広島市西条栄町9-1)

●Webフォームの場合



※応募多数の場合は厳正なる抽選により当選者を決定します
／応募は1組1通まで、複数申込は1件として取り扱います。／
イベント①②は1組4名まで、⑤は2名まで申込可能です。／記入
内容に不備不足がある場合は無効といたしますのでご了承ください。
記入例は当館HPよりご確認ください。／キャンセルが発生
した場合には当日先着順にて受付する場合もございます。

アクセス

【電車】JR山陽本線「西条駅」南口から約400m (徒歩約10分)

【新幹線】JR山陽新幹線「東広島駅」から「西条駅」行バス「中央公園前」下車すぐ (バス約20分)

【自動車】山陽自動車道「西条インターチェンジ」から約10分

※提携駐車場のご利用で2時間まで無料になります。

(アットパーク西条岡町駐車場 (旧市営西条岡町駐車場)：全日

東広島市役所駐車場：土日祝日のみ利用可)



舞台美術の魔術師がひらく、
ここだけの学芸会。

開館時間|9:00-17:00 (入館は閉館30分前まで) /ただし7.22 (水)は10:00開館/7.25 (土)、8.29 (土)、9.20 (日)は19:00まで、8.8 (土)は20:00まで開館

休館日|月曜日 (祝日の場合は翌平日) 会場|東広島市立美術館 3階展示室

観覧料| 前売券 一般800円、大学生560円

販売期間：5.4 (月・祝) - 7.21 (火) まで 販売場所：東広島市立美術館、セブン-イレブン (セブンコード：115-301)

当日券 一般1000 (800) 円、大学生700 (560) 円、75歳以上・高校生以下無料*

*学生証または年齢が確認できる証明書をご提示ください / () 内は当日券に限り20名以上の団体料金 / 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は受付にて各手帳 (障害者手帳アプリ「ミライID」利用可) ご提示で観覧料無料

主催|東広島市立美術館、中国新聞社 企画協力|HORIO工房

後援|中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、(株)広島リビング新聞社、プレスネット、KAMONケーブル、FM東広島89.7MHz、尾道エフエム放送

1 是枝裕和監督 映画『いしぶみ』舞台美術模型 (部分)、2018年 2 三谷幸喜 演出『三谷文楽 其礼成心中』小道具「繁栄島」、2012年 3 いのうえひでより 演出『劇団☆新感線RX 五右衛門ロック』舞台美術模型 (部分)、2015年

4 野田秀樹 演出 NODA・MAP第9回公演『オイル』道具帳 (部分)、2003年 5 堀尾氏が愛用しているペン (五線譜用) 6 森新太郎 演出『ピーターパン』小道具模型 (部分)、2020年頃 [いずれも個人蔵]

ウィズこどもデーで2割引

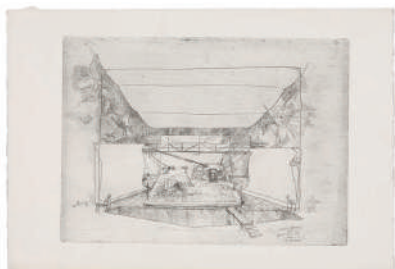
会期中毎週土曜日、高校生以下のこどもを同伴する一般・大学生の方2名まで当日料金2割引になります。

舞台美術家として第一線で活躍する堀尾幸男（1946-／広島市出身）は、オペラをはじめ、野田秀樹主宰のNODA・MAPや三谷幸喜の舞台作品、中島みゆきの『夜会』、立川志の輔の『志の輔らくご』などこれまで700公演以上を手掛けてきました。堀尾は舞台美術表現について、「学芸会のあの子供たちの描く自由さが、とても大切です。（中略）舞台とは〈戯れ〉である」と語っています。

本展では、多彩なジャンルから厳選した約50点の舞台美術模型や制作資料を中心に展覧し、終戦直後の広島市に生まれた堀尾が思いを寄せる被爆をテーマにした作品も交え、舞台美術の世界に迫ります。演出を想定した仕掛けで動く模型や当時の創作エピソード、制作現場である工房の再現展示などを通して、演出家らとともに作りあげてきた作品の舞台裏をご覧ください。今回の展示に向けて堀尾が子どもたちのためにデザインした、1/1スケールの壮大な宇宙空間は必見です。

第1幕： 舞台美術家・ 堀尾幸男のあらすじ

1946年広島市に生まれた堀尾幸男は中学時代の学芸会劇への出演を契機として、演劇とともに青春を謳歌しました。武蔵野美術大学在学中の旧西ドイツ国立ベルリン芸術大学舞台美術科への留学経験を経て舞台美術家になることを志します。オペラ作品をはじめ、様々な演出家たちと関わりながら今日まで数多くの舞台美術を担当してきました。これまでの歩みをダイジェストで辿るとともに、舞台美術家・堀尾幸男の誕生秘話に迫ります。



ブッチーニ三部作『外套』エレベーション 1982年
撮影：稲口俊太



横浜ポートシアター『小栗判官・照手姫』公演記録
1982年 撮影：岡本央



是枝裕和監督映画『いしづみ』舞台美術模型
2018年 撮影：稲口俊太

第2幕： 演出家×舞台美術家

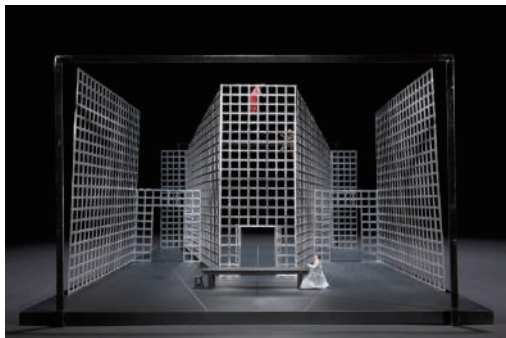
1982年以降、堀尾幸男は舞台美術家として本格的に活動し、演出家の野田秀樹、三谷幸喜、蛭川幸雄、いのうえひでのり（劇団☆新感線主宰）、森新太郎や歌手・中島みゆき、落語家・立川志の輔などとともに数々の公演をつくりあげてきました。対話を重視し、柔軟な発想で演出を支える協働者としての堀尾幸男と演出家たちの関係性を、制作資料から垣間見ます。



野田秀樹 演出 NODA・MAP 第7回公演
『パンドラの箱』道具帳、1999年
撮影：稲口俊太



森新太郎 演出 ミュージカル『パンス・ヴィジット 迷子の警察音楽隊』舞台美術模型
2023年 撮影：稲口俊太



右) 蛭川幸雄 演出『リチャード三世』舞台美術模型
2015年 撮影：稲口俊太

左) 三谷幸喜 演出『三谷かぶき 月光露針路日本 風雲児たち』
舞台美術模型 2019年 撮影：稲口俊太



堀尾工房の様子 2026年 撮影：稲口俊太

第3幕： 舞台美術家の 舞台裏

アイデアのヒントとなる書籍やイメージを描く道具、素材などに囲まれた工房で堀尾幸男の舞台美術のデザインは生まれています。舞台演出の打合せに使用する美術プランスケッチや模型の制作現場を再現展示し、一部では実際に舞台で使用される素材に触れる体験をしていただきます。唯一無比の空間が生まれるその舞台裏にご注目ください。



イメージ図 2025年 撮影：稲口俊太

第4幕： ひろがる無限の宇宙

堀尾幸男が本展オリジナルとして子どもたちのためにデザインした宇宙空間を1/1スケールで実現展示します。“舞台美術の魔術師”によって、約11m四方の元は白壁に囲まれた何もない空間が、暗い夜空にたくさんの星がきらめく無限の世界に変容します。ぜひ皆さまが主役になって、この特別な舞台に立ってみましょう。

舞台美術家 堀尾 幸男（ほりお ゆきお／1946-）

1946年広島市生まれ。武蔵野美術大学在学中に旧西ドイツのベルリン芸術大学舞台美術科に留学しヴィリー・シュミットに師事。大学卒業後は映画特撮美術や高等学校教諭などを経て1981年株式会社ホリオを設立し小道具制作を手掛ける。1982年からオペラなどの舞台美術を担当し以後、今日まで様々な舞台美術デザインに携わる。近年の主な作品に野田秀樹『華氏マイナス320°』、三谷幸喜『いのこりぐみ』、劇団☆新感線『髑髏城の七人』シリーズ、森新太郎『十二夜』、立川志の輔『志の輔らくご』など。第18回伊藤薫翔賞、第24回読売演劇大賞 大賞・最優秀スタッフ賞ほか受賞多数。

